

# 大人のチカラ

26

～子どもたちの未来のために～

## 父親の役割②

### 自分のやり方でイクメン力を発揮！

**妊**娠に伴う体の変化から、徐々に「母」を意識し始める女性。でも頭で理解しなければならぬ男性にとって、それは難題といえるでしょう。妊娠中は愛情を持って妻に接するだけで十分。いとしいわが子の誕生から、いよいよパパの出番です！

### 生活スタイルに合う役割分担を決めよう

赤ちゃんの間はミルクやおむつ交換、お風呂に入れたり夜泣きに付き合ったり。少し成長すると遊んで

あげたりと、具体的な育児が思い浮かぶことでしょう。でも「これをやらなければイクメンとはいえない」といった規則はありません。家族構成や生活スタイルによって、やるべき内容は

さまざま。夫婦でよく話し合うことで、その家の役割分担が見えてくるはず。香川大学教育学部准教授の松本博雄さんによれば、役割のイメージは「野球ではなくサッカーだそう。『野球はピッチャー、バッターなど担当が明確。でもサッカーの場合は攻撃のフォワードといった形であらかた決まってはいるものの、ディフェンダーがシュートしてはダメというものでもありませんよね。夫婦はチーム。相手がピンチの時に自然とサポートに回れるのがベストな関係です。』このスタイルを確立するために、常日ごろからのコミュニケーションが重要

だといえます。言葉にして互いの立場を理解し合うのではなく、良い父親の像とは？実は、これは一つに決められるものではありません。人によって良い父親の形は違って当たり前。父親の役割として大切なのは、自分が理想の父親になれていないのでは？との勝手な思い込みをしないこと。自分のやり方で、自信と愛情を持って接することが重要です」と松本さん。また妻や子どもに対して「いつもありがとう」「家

### 言葉にして互いの立場を理解し合う

族が大切」など、気持ちを言葉で伝えることもポイントです。ただし「手伝わうか？」は禁句。自ら進んで育児に参加してこそ、すてきなイクメンなのです。さらには会社の育児制度を活用したり、事前に職場で良き理解者を増やしたりしておくこともおすすめです。

